

医療法人

STC MEDICAL INTERNATIONAL CLINIC

開設の理念

STC MEDICAL INTERNATIONAL CLINICはフィリピンに於いて20年以上に渡り医療ボランティア、エンターテイメント、支援物資、等々で貢献して来た日本人医師と韓国人医師とそれを支えてきたボランティアグループの有志が他の賛同者と共に2020年1月にプロジェクトチームを結成して以下の目的の為に設立した医療法人です。

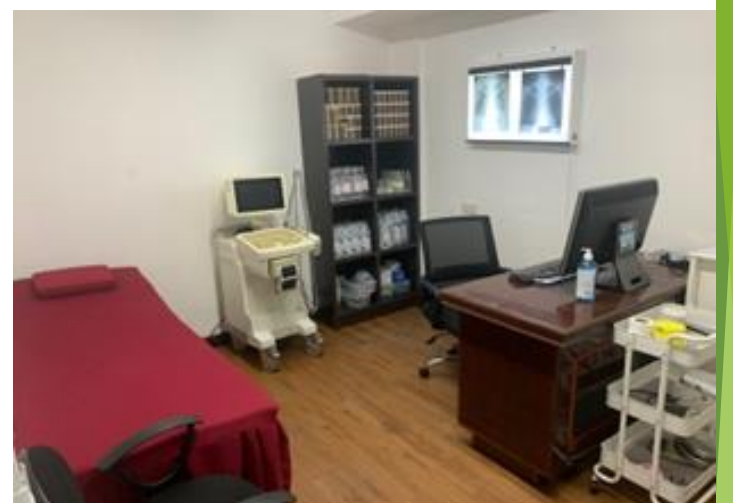
目的（1）母国語（日本語、韓国語）が通じる医療機関が殆ど無いので言葉の心配なく安心して医療を受けれる病院の設立をして貢献します。

目的（2）ボランティアの活動拠点として貢献します。

目的（3）日本、韓国国内では規制が厳しくまた高額な幹細胞治療を迅速に日本、韓国、の研究実績のある良いところを取り入れた再診技術の施術を適正価格で行い貢献します。

目的（4）幹細胞治療と共にNK細胞免疫療法なども従来の数倍の投与治療を低価格で行い貢献します。

クリニック写真



STC MEDICAL INTERNATIONAL CLINIC

住所 517 Alonzo St, Malate, Manila, 1004 Metro Manila Philippines

電話番号: +63-2-8583-4102

担当者携帯 日本語+63-919-829-9992 / 韓国語+63-928-294-4099

E-mail: stcmedicalclinic@gmail.com

当クリニックについて

診療科目

① 内科

一般内科診療、健康診断、メガビタミンC等疲労回復、栄養剤点滴。

② 皮膚科 炭酸ガスレーザー、ヤムレーザー、ボトックス、フィラー、IPL 治療

③ スキンケアー 皮膚科と連動したスキンケアー。

④ 歯科 日本の3か所以上の歯科医院と提携して日本での継続治療も可能。

⑤ 鍼灸漢方科 韓国漢方医師による高度なオリエントタル治療。

⑥ 幹細胞、免疫治療科

当クリニックの最も力を入れている診療科。

研究実績世界最高の韓国の幹細胞治療実績と技術に加えて日本の幹細胞治療技術を取り入れて良いところ取りをした幹細胞治療を適正価格で受診出来ます。

日本や韓国では規制が厳しい為に治療までの日数が大変かかったり限定されています。また、新しい技術の為に一般の医師の間でもまだ理解が良くされていない分野です。

その点当クリニックでは幹細胞治療希望の患者さんが直ぐに治療を受けれるように配慮しています。

幹細胞 治療はまだまだ歴史の浅い（2001年に始めてお臍の周りの脂肪組織の中に脊髄の1000倍以上の幹細胞があることが分かったばかり）最新医療技術ですですから様々な情報が乱れ飛んでいます。幹細胞治療の専門家も極少数ですので医師でさえも正しい知識を持っていない先生が大多数を占めています。

私たちの体の中には、心臓や皮膚などの組織や器官があり、それぞれ特殊な働きをもつ細胞によって構成されています。

それらの多くの種類の細胞を生み出す働きをもつ細胞もあります。その働きをもつ細胞を「幹細胞」と呼んでいます。

幹細胞は、傷ついたり古くなった細胞を入れ替えたり、病気やケガで失った細胞を補充する役目も果たしています。

幹細胞には体内のあらゆる細胞に変化する潜在的な能力を備えているのです。

また、無限に増殖することも可能です。

幹細胞は、次の2つの素晴らしい能力を備えています。

1) 自己複製能:自分と同じ能力を持った細胞に分裂できる能力

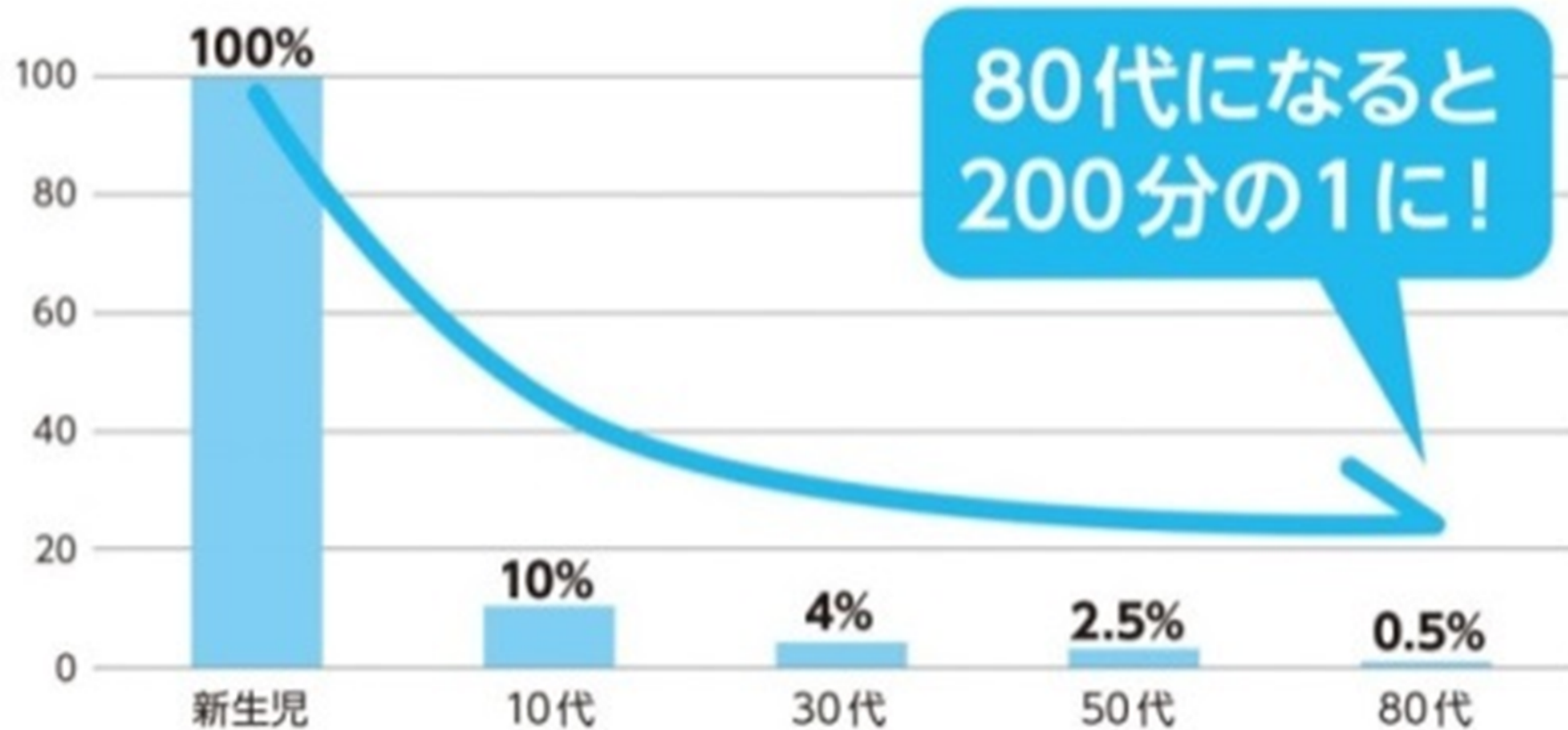
2) 分化能:生物の体をつくるさまざまな細胞に変化する能力

ですからこんな幹細胞を沢山持っていればケガをしたり病気になってもすぐに回復してしまいます。

残念ながら、私たちの幹細胞の量は赤ちゃんの時がピークで、新生児を100%すると、10代後半にはおよそ10%に、30代では4%にまで減少します。

80代になると、驚くことにたったの0.5%になってしまうのです。

老化の正体は幹細胞の減少だった！



年を取ると傷が治りにくくなったり、皮膚がたるんだり、しわが出たり、黄斑が出たり、体の疲れがとりにくくなるのはそのせいです。

幹細胞治療により自身の幹細胞を培養して増やして体内に戻して5 - 15年前の幹細胞の状態にして若さと元気を取り戻して免疫力を高めて病気や機能低下に抵抗できる健康づくりをしましょう。

現在の技術で健康に120歳まで過ごせます。

更にその間に医学が進歩発展しますから、150歳も決して夢ではありません。

関心のある方にはより詳細な情報を後半に掲載しておりますので是非参考にしてください。

基本的な治療手順を簡単に紹介します。

	処置時間	
第一日目	20 - 30分	問診を含適正診査
	1時間以内	脂肪吸引

3～4週間後まで1億セル以上に培養

	処置時間	
第一日目	1時間	3000万セル点滴注入
2～3日間隔 第二日目	1時間	3000万セル点滴注入
2～3日間隔 第三日目	1時間	4000万セル点滴注入

以上がワンクールです。

ワンクールに要する日数は表のとおり脂肪吸引に一日（1時間半）間を3週間前後を空けて一週間に3日間（1時間／日）です。

当クリニックでは以下の症例に関しても最新の
幹細胞技術利用して治療を行っています。

アルツハイマー（認知症）

適用幹細胞：iN-CA

認知症は、間違って代謝された毒性アミロイドペプチド（amyloid β peptide、A β ）が脳内に蓄積され、脳細胞の死滅をもたらすか、脳卒中および他の原因で認知機能が不足されている疾患で、65歳以上の10%、85歳以上の50%で発症して末期には、家族も見分けられない恐ろしい病気です。

認知症を引き起こす原因としては、アルツハイマー、脳血管疾患、代謝性疾患、内分泌疾患、感染性疾患、中毒性疾患、脳水腫、脳腫瘍などがあり、この中で最も多くの原因は、アルツハイマー、認知症（71%）と脳卒中による血管性認知症（17%）です。

SMICELLの認知症治療幹細胞は、認知機能（記憶力）遺伝子（CA）を搭載したiN-CA神経幹細胞（NSC）で、アセチルコリン（acetylcholine）合成遺伝子の発現を介して、認知症や老化に低下した認知機能と身体の活力を回復させることはもちろん、神経細胞の再生を介して健康寿命（health span）を延長させてくれます。



通常



認知症



神経幹細胞



遺伝子搭載
神経幹細胞

脳卒中 [脳梗塞/脳出血]

適用幹細胞：iN-CA

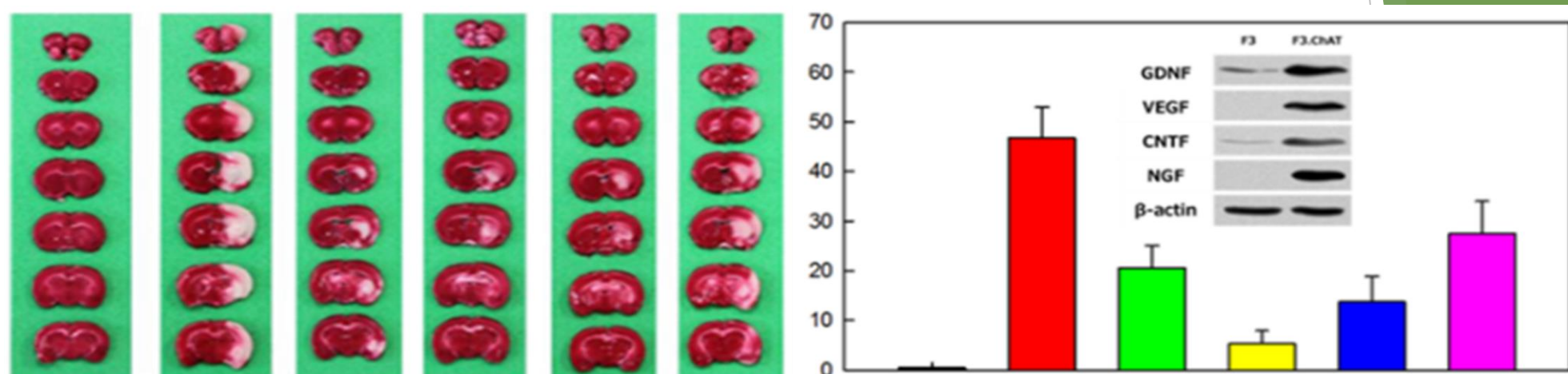
脳卒中とは、半身不随や昏睡状態のような深刻な、長期的な障害につながることがあります。また、脳卒中後の生存者の50～70%が四肢麻痺、硬直、言語障害などで、患者本人は勿論、家族の生活を荒廃させます。

SMICELLの脳卒中治療幹細胞は、認知機能（記憶力）遺伝子（CA）を搭載し、脳保護因子（VEGF、GDNF、NGF、CNTF）を過発現させたiN-CA神経幹細胞（NSC）で、ゴールデンタイムに投与脳梗塞面積を1/10に低減してアセチルコリンの合成と脳保護遺伝子発現と神経細胞の再生を介して認知と身体機能を回復させてくれます。

2時間動脈閉鎖後の血管注射の効果

実際の脳組織（白い部分が脳梗塞部位）

脳梗塞面積



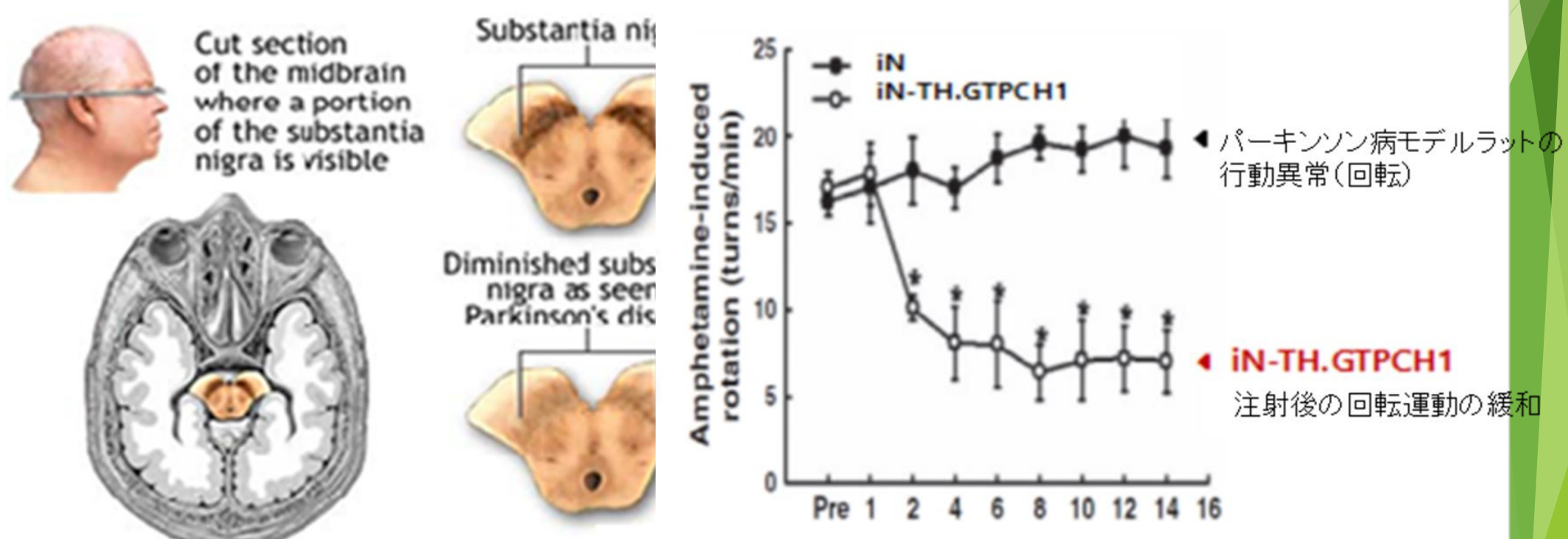
パーキンソン病

適用幹細胞：iN-TH.GTPCH1

パーキンソン病は、脳内の黒質部位のドーパミン（dopamine）神経系が変性を起こしドーパミンの分泌が減少することにより、運動機能の低下（遅い行動）、不随意の手の震え、小指症などの現象が現れる変性疾患です。

SMICELLのパーキンソン病治療幹細胞は、ドーパミン生成酵素であるTHとGTPCH1遺伝子を搭載したiN-TH.GTPCH1神経幹細胞（NSC）で、ドーパミン合成遺伝子の発現を介して身体の活力はもちろん、筋肉の低下、身体のバランス、手の震え、遅い動き等のような問題点を解決します。

肝臓、神経幹細胞のdopamine合成遺伝子THとGTPCH1挿入



脳性麻痺

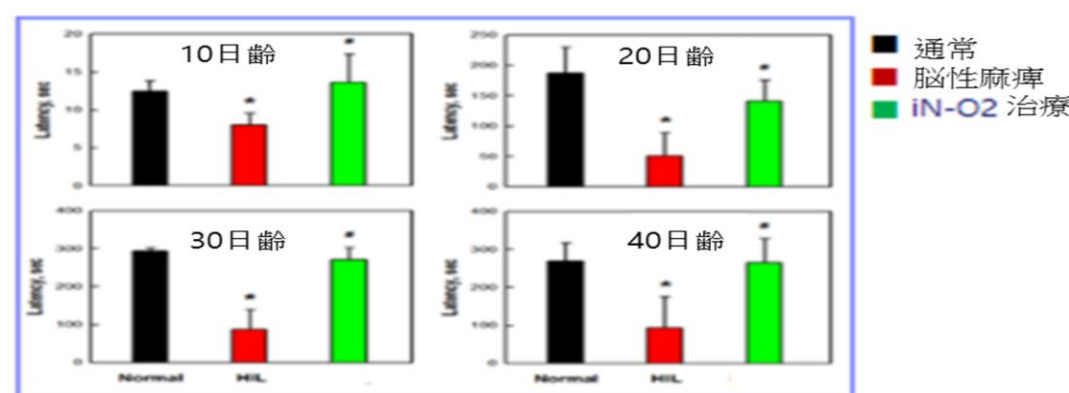
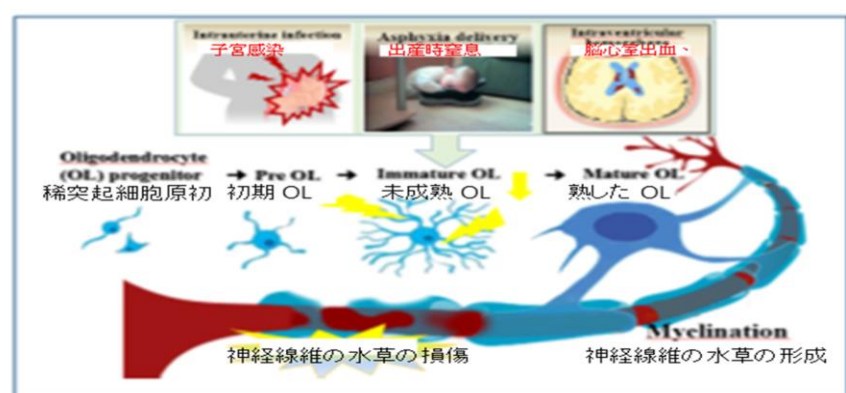
適用幹細胞：iN-O2

脳性麻痺は、出産の過程での難産や子宮内感染症が原因で、myelinsを形成する稀突起膠前駆細胞（oligodendrocyte progenitor cells、OPC）が脱落/死滅することによって発生する心室周辺の白質損傷、脳病変障害（periventricular leukomalacia、PVL）に運動、歩行や姿勢の維持に障害を示す臨床症候群を指します。特に高齢出産と社会的ストレスが原因で急激に増加し（約13%）している未熟児で高い発生率（約10%）を示しており、社会的な問題となっています。

最近、脂肪幹細胞（ADMSC）や神経幹細胞（NSC）の一部効能が提示されたが、SMICELLの脳性麻痺の治療幹細胞は、神経幹細胞を転写因子であるOlig2で処理して神経線維に、通常の水草を形成するように誘導したiN- O2稀突起膠前駆細胞（OPC）で、運動機能および行動異常を改善させてくれます。

水草の形成死滅による脳性麻痺誘発

回転棒の動き

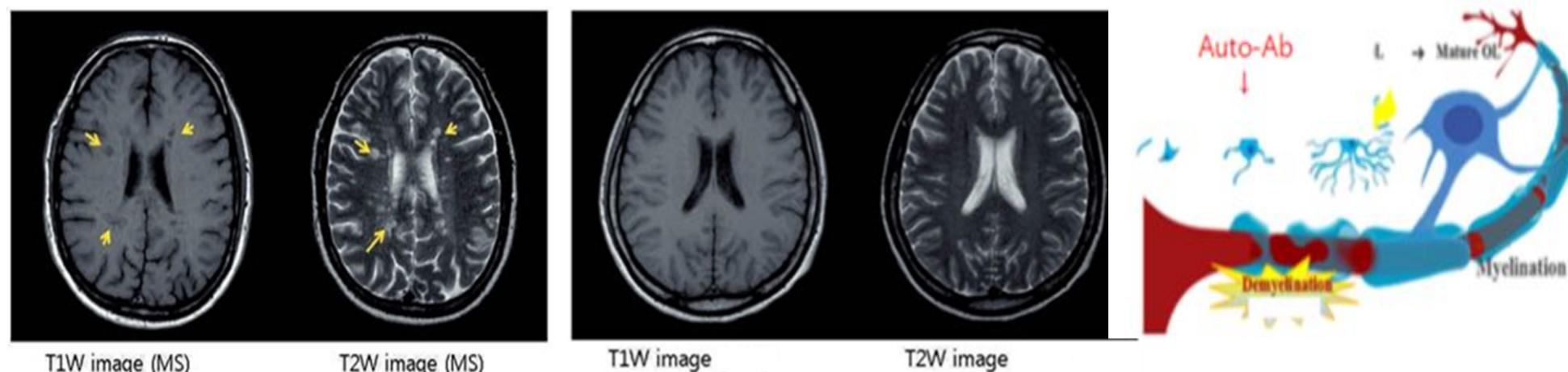


適用幹細胞：iN-O2

多発性硬化症は、比較的若い成人から現れる自己免疫疾患（autoimmune disease）で、主に脊髄の水草成分に対する自己抗体が生成され、水草を攻撃することによって発生します。

自己抗体の水草の抗原 - 抗体反応は、リンパ球とマクロファージの動員による炎症反応に希突起膠細胞（oligodendrocytes）の死滅と水草脱落をもたらして、さらに軸索（axons）の損傷につながる。疾患が進行すると下半身麻痺されて徐々に歩くことができなくなる、程度により感覚異常、運動障害や衰弱、吃音、硬直、膀胱機能不全などが現れます。

SMICELLの多発性硬化症治療の幹細胞は、神経幹細胞を転写因子であるOlig2で処理して神経線維に脱落した水草を再形成するように誘導したiN-O2稀突起膠前駆細胞（OPC）で、足麻痺現象はもちろん、運動機能および行動異常を改善させてくれます。



健康な脳と多発性硬化症（MS）患者の脳MRIの比較

成人の自己抗体に起因する水草落

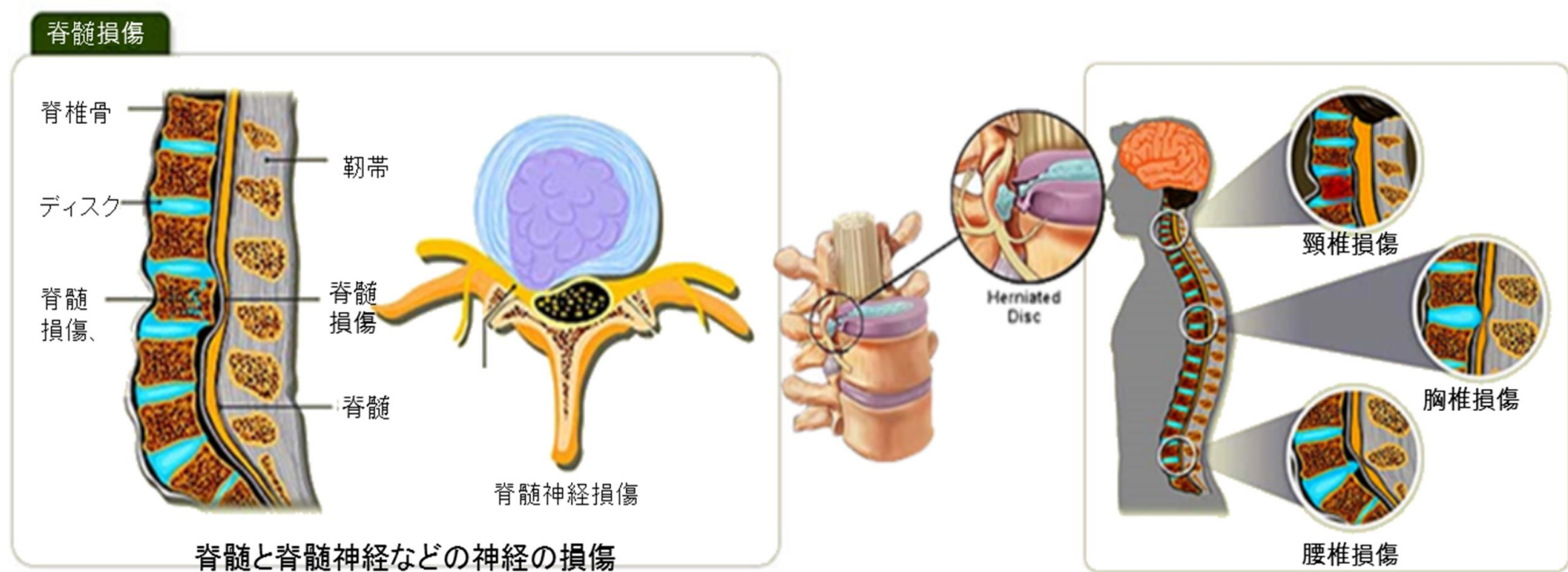
脊髄損傷

適用幹細胞：iN-O2 + iN-CA

一般的に、脊髄損傷は、外傷による1次損傷と心的外傷後の炎症などが原因で発生する2次損傷に分けられるが、主に2次損傷によって損傷部位以下の神経機能に問題が生じます。

活性酸素を大量に生成する2次炎症反応によって損傷した脊髄神経は、初期に水草が脱落して、続いて軸索が変性されて永久的な障害を引き起こします。

SMICELLの脊髄損傷治療幹細胞は、水草を形成するように誘導したiN-O2稀突起の接着前駆細胞と脳保護因子（VEGF、GDNF、NGF、CNTF）を過発現させたiN-CA神経幹細胞（NSC）で、神経細胞再生や水草の形成を介して運動機能を回復させることで、リハビリの効果をさらに高めます。



ルー・ゲーリック病（筋萎縮症）

適用幹細胞：iN-O2.shh

ALSと呼ばれる筋萎縮性側索硬化症（amyotrophic lateral sclerosis、ALS）の発症原因は明確ではないが、抗酸化システム（antioxidant system）と再生システム（recycling system）の消失による運動神経（motoneurons）の死滅が原因と考えられます。

ALSの発症後すぐには、2年以内に、通常は5年以内にほとんど（85%以上）の患者が死亡につながります。初期には脳基底部と脊髄の下部運動神経細胞が死滅して下半身衰弱と麻痺から徐々に脳皮質の上部運動神経細胞死滅による上体麻痺につながり、末期には呼吸筋麻痺で死亡することになります。

運動繊維/筋肉萎縮にもかかわらず感覚神経（sensory nerves）には影響を渡さないため、死亡までも視力、聴力、肌触り、認知力、膀胱と腸の機能は維持されているのが特徴です。

SMICELLのALSの治療幹細胞は、神経幹細胞を転写因子であるOlig2に続いてshhで処理して運動神経に誘導したiN-O2.shh細胞で、ルー・ゲーリック病の進行を遅らせたり、遮断して麻痺現象はもちろん、運動機能を改善させてくれます。

退行性関節炎

適用幹細胞：DAT-ADMSC / T2-ADMSC / PCP-ADMSC

人間の関節内には血液の供給ができないし、その軟骨組織は、軟骨細胞が不足しているため、老化や過度の負荷による退行性関節炎は、自己修復が非常に難しいです。

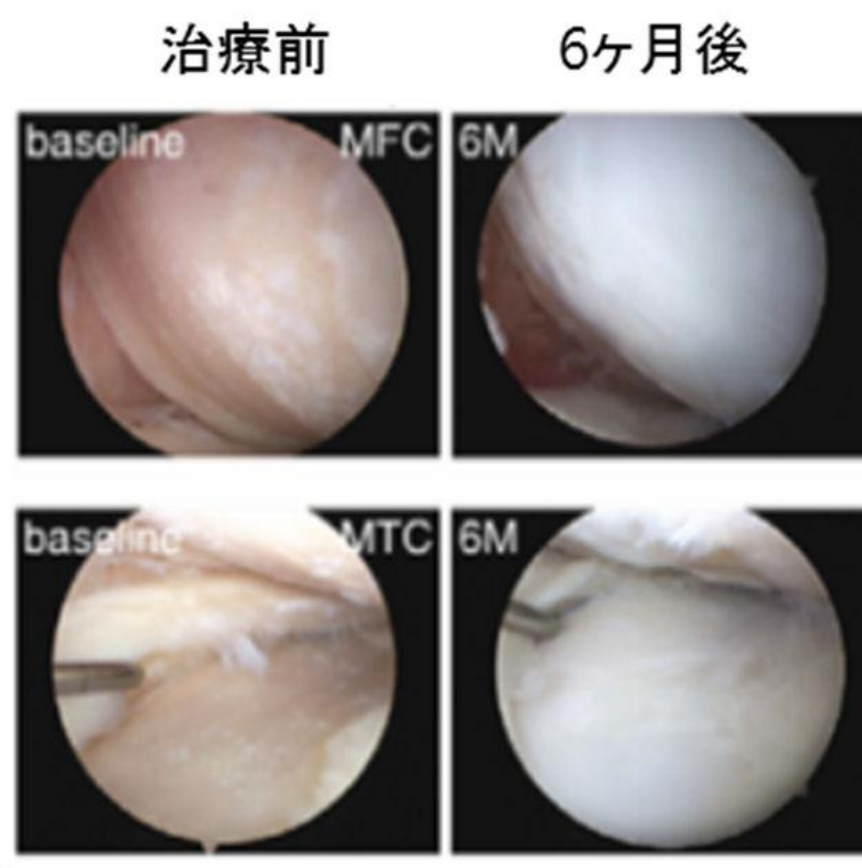
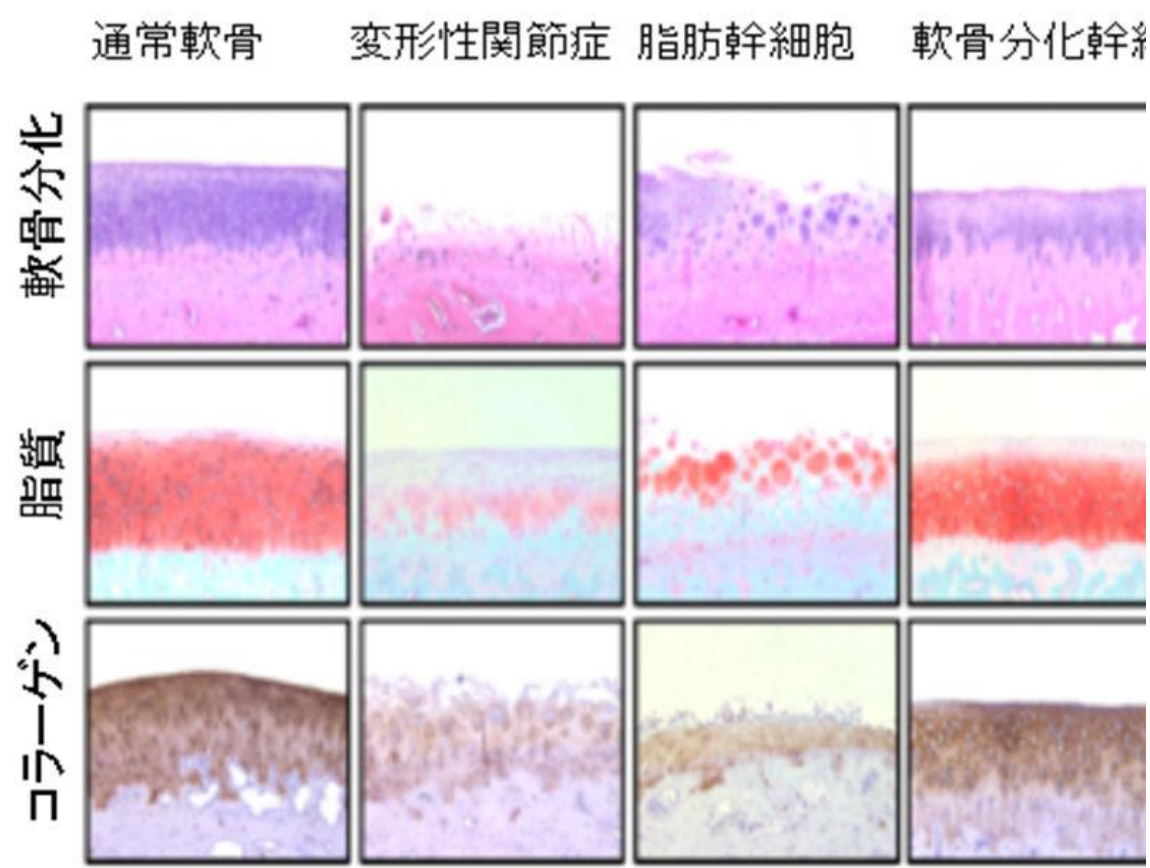
退行性関節炎が持続されると、軟骨が消失され、関節が変形して骨増殖体（osteophytes）を形成することにより、動きが困難になって、最終的には身体の老化が促進されます。

既存の手術法は、自己血小板分画（platelet-rich plasma、PRP）を関節管に注射して、まだ残っている軟骨細胞の消失を保全する方法であったが、最近では、臍帯幹細胞（UCBMSC）を骨端部位に移植したり、自家脂肪幹細胞（ADMSC）を関節管内に注射して、より優れた効果を得ています。

しかし、幹細胞のみの直接施術は、いくつかの細胞のみが軟骨細胞に分化されるだけで、脂肪組織や骨組織にも分化することができ、関節管内に水がたまるか、痛みを起こすこともあります。

SMICELLの退行性関節炎の治療幹細胞は、自家脂肪幹細胞をDAT、T2またはPCPに軟骨細胞に分化させたDAT-ADMSC / T2-ADMSC / PCP-ADMSCで、副作用が少ないながらも、軟骨の再生を最大限に促進させてくれます。

退行性関節炎 軟骨の治療



純粹細胞再生治療

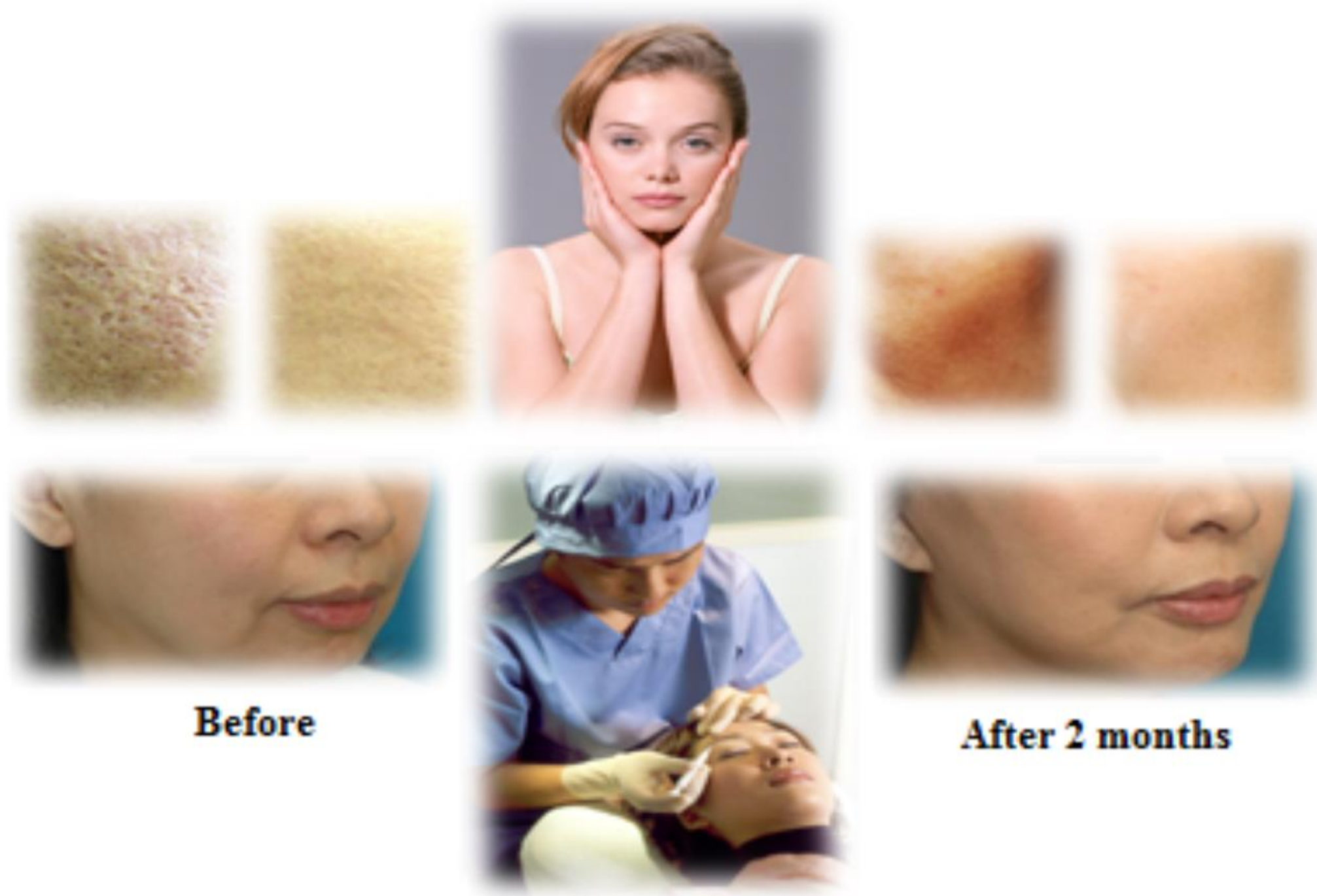
適用幹細胞：PRP-ADMSC / PRP-AMESC / iN-CA

人体由来の間葉幹細胞（MSC）は、コラーゲン前駆物質（procollagens）などの様々な有効成分を分泌して皮膚の中から顔を若く美しく整えます。

特にPRPと一緒に投与すると、幹細胞を活性化して、増殖を促進させ、より多くの有効成分を分泌させることにより、肌の美容にはもちろん、シワの改善により効果的なことが知られています。

SMICELLの美容整形幹細胞は、人体羊膜（胎盤）幹細胞（AMESC）で、他の組織由来の幹細胞に比べてはるかに多くのcollagens分泌を介して、はるかに優れた美容（肌の色の改善、毛穴縮小、シミやそばかすの取り外し）とシワ改善効果を発揮します。

また、肌の美白機能は神経幹細胞（NSC）にのみ存在する特徴的認知機能の遺伝子を搭載したiN-CA神経幹細胞は、身体機能（認知と身体活力）の回復に加え、優れた美白効果を極めて高めることでしょう。



発毛促進/毛根強化

適用幹細胞：Wnt-iN-KGF

毛髪は、一日に70～80個程度が落ち、生えます。

異常に毛髪が多く抜けたり生えたりしますが、部分的にひどく抜ける場合ハゲになります。

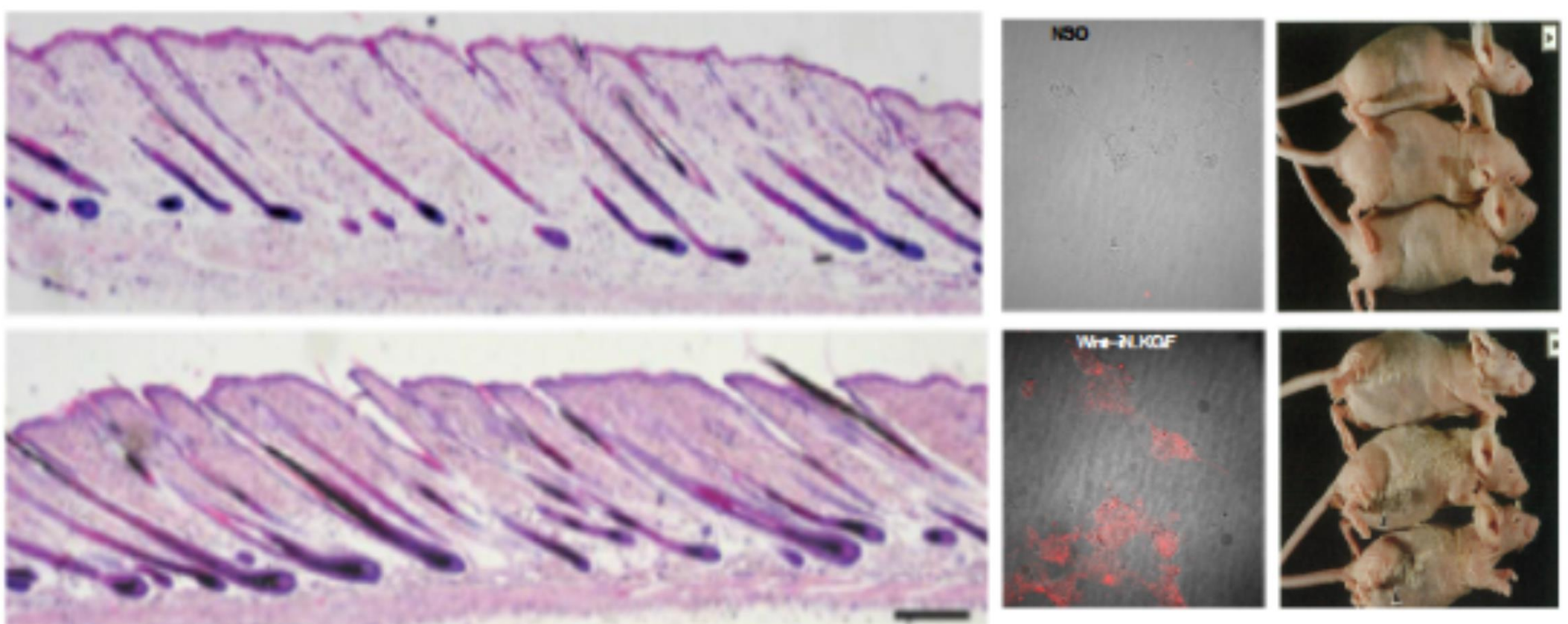
毛損失を引き起こすには、遺伝的な要因と生物学的不均衡、外傷、感染、ストレスなどによる後天的な要因があります。

生物学的原因による脱毛の場合、適切な原因の治療が可能です。男性ホルモンの代謝体にあるDHT（dihydrotestosterone）の過剰生成に起因する場合、男性ホルモン受容体拮抗薬を使用します。

医学の発展と外見と美容への関心が高まり、様々な発毛促進剤と脱毛予防剤が開発されても毛根が弱くなって毛髪が細くなる問題を根本的に解決できず、発毛促進剤は、使用を中止したり、とかすをするときの力なしに陥って捨て満足感が低く、男性型脱毛予防剤は、性欲減退で評価が低下します。

SMICELLの発毛促進/毛根強化幹細胞は、上皮成長因子（KGF）遺伝子搭載Wnt発現Wnt-iN-KGF神経幹細胞（NSC）で、脱毛部位に1-2回の注射でもKGFのために発毛が促進され、Wntにより毛根が強化されて再脱毛されず、健康な被毛でツヤを回復させてくれます。

幹細胞注射前の弱い毛根



Wnt-iN.KGF 注射後の強化ディーン毛根

腫瘍

適用幹細胞：iN-CDIb + 5-FC

超高齢社会に入り、90歳以上まで生存する場合には誰でも体の中に大小の癌細胞を持つようになります。

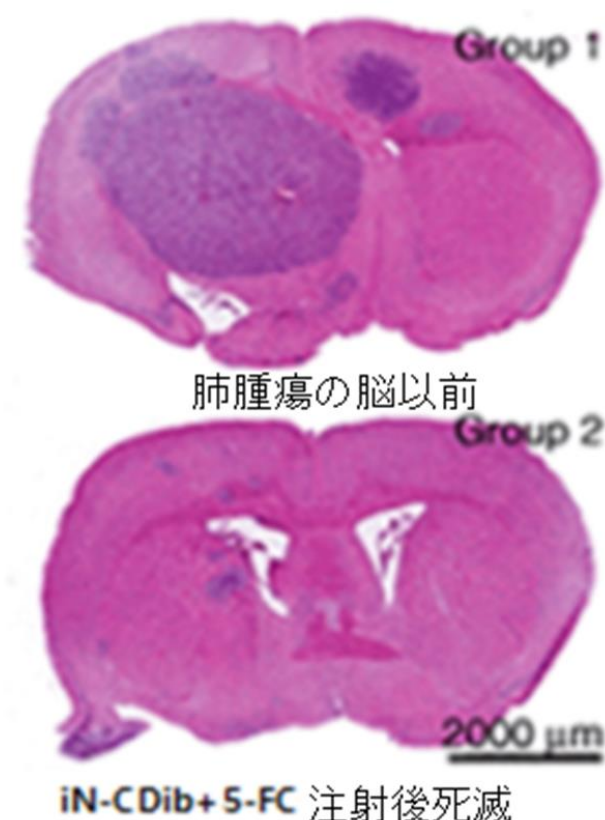
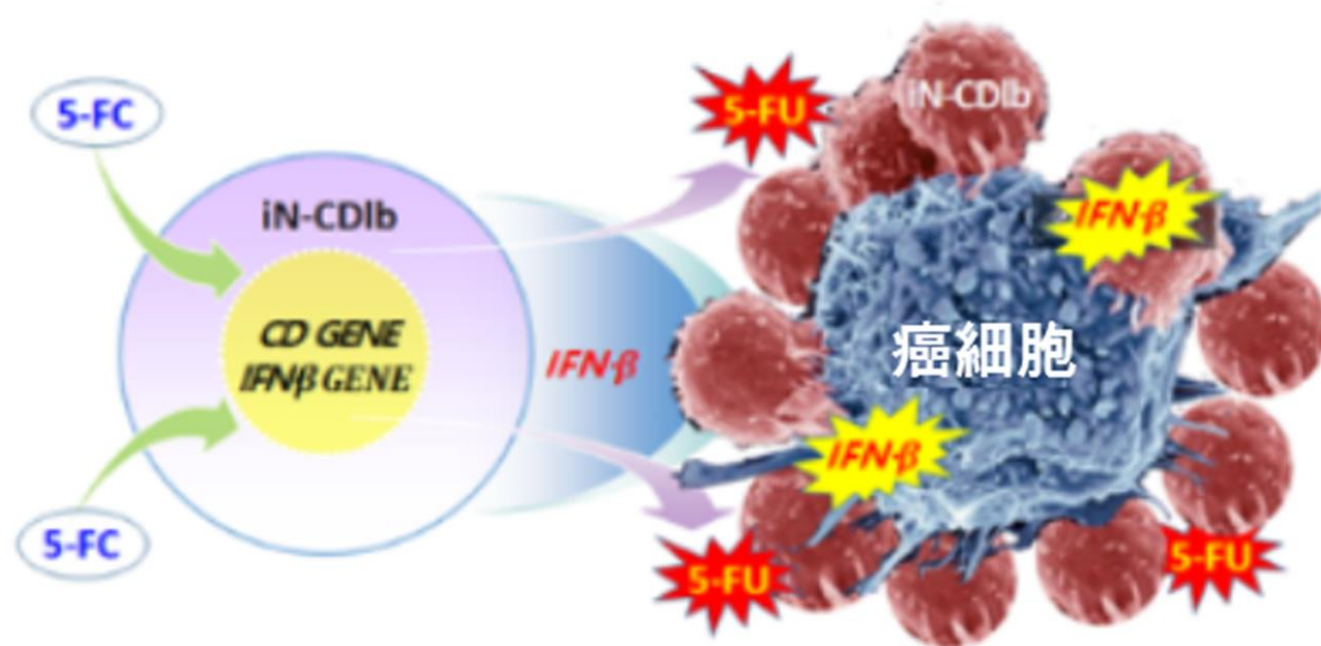
長年の研究により、癌細胞死滅効果に優れた抗がん剤が開発されましたが、その効能に比例して、骨髄、免疫系、心筋、精巣などの致命的な毒性を誘発して私たちの体を荒廃させたさせるため、抗がん治療の為の否定的な認識が強く浮上しました。

従って正常組織には影響をほぼ与えずに癌細胞だけ死滅する為の標的治療（target therapy）が癌治療の新しいパラダイムとして浮上しています。

SMICELLの抗がん標的幹細胞は、抗がん剤活性化酵素（CD）と免疫調節遺伝子（Ib）を搭載したiN-CDIb人間神経幹細胞（NSC）で、血管注射後数日以内に、腫瘍の部位に移動してtumor-tropismを巡らせます。

このような視点に抗がん剤前駆物質（prodrug）である非毒性5-FCを服用すると、癌細胞を取り囲んでいる幹細胞にのみCDで強力な抗がん剤である5-FUが有効になって身体の他の組織に影響を与える事なく、副作用なしに腫瘍を死滅させてくれます。

遺伝子搭載抗がん標的幹細胞の癌細胞死滅メカニズム



悪性腫瘍（癌、肉腫等）のNK治療

NK治療は幹細胞治療とは異なりますが、施術は幹細胞治療とほぼ同じです。人の体の中には、癌の殺し屋と呼ばれる「ナチュラルキラー細胞（NK細胞）」が絶えず活動しています。これは自然免疫と呼ばれるもので、全身をくまなくパトロールし、癌細胞や悪性化しそうな異常細胞を見つけると、他の細胞の指示を受けることなく瞬時に攻撃を開始します。

分子レベルで癌細胞を見つけ出して攻撃する為に外科的な除去が難しい浸潤性の癌や、発見されにくい微細な癌にも効果が大変あります。また活性NK細胞は、再発を防止する目的にも大変効果が期待出来ます。このNK細胞も加齢により幹細胞と同じ様に急速に減少してきます。ですから、若い人に比べて高齢者に圧倒的に癌が増えるのです。若い時も絶えず癌細胞は体内に出来ませんが、NK細胞が沢山あって癌細胞が出来ると直ぐに癌細胞をやっつけて消滅させてくれるので癌にならないのです。

患者本人の血液を約60cc採取し、その後薬2週間でNK細胞を分離培養し活性化させて約30億個まで培養増殖します。これを静脈点滴等で患者に注入投与します。

活性化されたNK細胞は、血流にのって全身くまなく巡り、癌細胞を発見すると直ちに攻撃して撃退します。

手術などで取りきれなかった癌や、転移、見つけにくい微細な癌を直接攻撃します。

現在日本や世界各地で行われているNK治療の多くは1クール10億から多くて15億のNK細胞培養注入ですが、当クリニックでは同様な価格で1クール30億のNK細胞を注入して癌攻撃力を高めています。

当クリニックではご紹介したように最先端の幹細胞治療と共に内科、皮膚科、スキンケア科、鍼灸漢方科、の治療を受けることが可能です。

幹細胞治療は基本的な治療ですと既にご紹介しました様にまずは第一日目に1時間半、そして、20日程間をおいてから一日1時間を1週間の間に3日だけ費やすだけで終了します。日本から2泊3日でいらして3週間後に再来されて1週間だけ過ごして頂ければそれで終了です。

最初から一か月程滞在してフィリピンを堪能される事も出来ますし、2回に分けて来比する事も自由に出来ます。施術に要する時間は非常に短時間で治療時間以外の行動制限はありません。幹細胞を注入した後は暫くの間だけ激しい運動や過度の飲酒を控えるだけです。

この様な幹細胞治療、NK治療に関心のある方、ご質問のある方は以下の連絡先の担当者にご連絡を頂くかこのクリニックガイドをご案内した方にお尋ねください。